



# 七里小だより

2月号

さいたま市立七里小学校  
令和6年2月1日

## 母語について

さいたま市立七里小学校  
校長 保坂 泰司

今日から2月となります。そして4年に一度の「うるう年」のため、2月といえば28日のところ、今年は29日まであります。ちなみに地球は365日かけて太陽の周りを回っておりますが4年の間に1日分のズレが生じるそうです。その分を調整するために2月を1日増やした、それが「うるう年」です。話は変わり、保護者の皆様、寒い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。子どもたちは来年度ひとつ大きなお兄さん・お姉さんになるために、変わりなく勉強や学校生活、「当たり前」のことは「当たり前」にしっかりと行っています。来年度が楽しみです。期待してください。

さて、先月に本校で全学年対象に「さいたま市学習状況調査」が行われました。これは、毎年、さいたま市が実施し、子どもたちの学習の状況について把握するものです。そして、学校は、その結果を受けて、従来の指導方法の改善や既習事項の復習等をして、全ての子どもたちに「学力の基礎的・基本的事項」を確実に身につけさせていきます。調査の中で、「遊んでいる 弟を お母さんが よぶ」（3年 国語）という文の主語・述語を問うものがありました。簡単に言うと、「主語」とは述語の示す動作の主体、「述語」とは主語の示す動作です。よって先の問いの答えは、「主語」は「お母さん」、「述語」は「よぶ」となります。しかし、子どもたちにとって主語・述語の問いは少々苦手なようです。そこで、なぜ苦手なのか、私なりに考えました。日本語の特徴のひとつに「主語」を省略するというものがあります。他の多数存在する言語の中でも珍しいようです。例えば、お昼ごろに知り合いに会えば「ごはん 食べた?」、家では「宿題 終わった?」と聞くことも多いと思います。主語がありません。しかし、英語だと「Did you have lunch?」「Did you finish your homework?」となり、「You」という「主語」が用いられます。先程の問いの文に主語を入れると「あなたは ごはん 食べた?」「あなたは 宿題 終わった?」となり、日本語の文としての座りがちょっと悪い感じになってしまいます。心のどこかでは「主語（動作主）」と「述語（種の動作）」との関係性を意識しながら言葉や文を表現しているが、主語を入れると文としての座りが悪くなるからといって省略してしまうために、いざ主語・述語について問われると苦手意識をもってしまうのかなと考えました（苦手意識をもつ他の考えられる原因がありましたらお知らせください）。学校としては、読書や算数の文章題を理解するためには、得意になってもらわなければならないと考えます。そのために、主語・述語について継続して指導していきます。

やはり、「母語についての知識」、そしてその仕組みを理解することは、非常に大切であり、「母語で深く考え豊かに表現する」ことに繋がると確信しています。さらに、このことは外国語の習得によい影響を及ぼすものと考えます。なぜなら、母語と外国語の仕組みについて互いの違いを知ることができるからです。違いを知ることができれば、意識的に外国語の学習に取り組むことができるようになります。本校では、母語（日本語）を大切にしていきます。ぜひご家庭でも、普段使っている身近なことばについて話題にしてみてください。

### 【ご家庭で話題にしてくれたら嬉しいです..「母語への気づき」のために】

- ・(お蕎麦屋さんで店員さんに)「私は、ざるそば」→違うでしょ!! ざるそば君がそう言うなら..
- ・「美しい トランペットの 音色」→美しいのは何?
- ・「花子が 好きな 太郎」→好きなのはどっちがどっち?
- ・「ここではきものを脱いでください」→何を脱げばいいの?
- ・【Aさん】「何かわからないことがあるなら、明日、話聞かよ」【Bさん】「大丈夫です」→どっちなの?